



2020-2021 年度
10月号
NO. 385

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

TW22 YIA

国際会長：Kim Sang-chaе (Korea) 主題:「世界とともにワイズメン」
アジア太平洋地域会長：大野 勉 (神戸ポート) 主題:「100 年を越えて変革しよう」
東日本区理事：大久保知宏 (宇都宮) 主題:「変化をたのしもう！」
関東東部部長：大澤和子 (所沢) 主題:「地域に世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワ」
東京ひがしクラブ会長：高野真治 主題「摂取不捨」～えらばず、きらわず、見すてず～

10月例会



と き 2021 年 10 月 14 日 (木)
19:00~20:30
※ZOOM による例会

開会挨拶 会長 高野真治
ゲスト紹介
ゲストスピーチ
熊本復興リポート “甦る熊本”
光永尚生氏 (熊本 YMCA 総主事)
今月の誕生日 & 結婚記念日
各種報告
閉会

強調月間

TW22=Towards2022 (2022 年に向けて)

ワイズメンズクラブ国際協会が 100 周年を迎える 2022 年を目指して定めた発展・拡大の目標。最低 100 ヶ国にワイズメンズクラブを作り、総会員数を 50,000 人以上に増員することなど、現在その取り組みは、「Towards&Beyond」と称されて Beyond」と称されて「2022 年とその先に向けて」となっている。

YIA=Youth Involvement and Activities

若者のワイズメンズクラブ活動への参画・活動。ワイズメンズクラブが行う様々な行事に、多くの若者たちを巻き込む活動の奨励、ワイズユースクラブの育成、ユースコンペーションの実施等を行う。



★ワイズナイトフォーラム第2夜

10月24日(日)PM8~10

- ・卓話 利根川恵子さん (川越クラブ)
『TOKYO2020 オリンピックにボランティアとして参加して』
- ・パネルディスカッション
『チミケップキャンプ場の活動・・・』
ファシリテーター 山下 真さん (十勝クラブ)

※知人・友人を誘ってワイズの魅力を紹介しよう！。
参加希望者は会長まで、URL を教えます。

🕊 今月の聖句 🕊

『イエスは言われた。「では、皇帝のものは、皇帝に、神のものは神に返しなさい』』

—マタイによる福音書 第22章21節—

9月例会

出席者 11名 ゲスト2名
会員出席数 9名
在籍数 13名
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 82%

スマイル

2021-2022年度
7月 9,000 円

2021-2022 年度役員

会長 高野真治
副会長 千代一郎
書記 金丸満雄
会計 須田哲史
担当主事 沖 利柯

第25回関東東部大会

10月2日(土)、ZOOMによる第25回関東東部大会は、13時30分関東東部内外合わせて120余名の出席で開催された。

第1部：記念講演は、萩原なつ子氏(立教大学教授)により、「人生100年時代を生きぬくために～今あなたにできること～」と題した講演。男女共同参画社会の話で始まり、豊島区の「消滅可能性都市」を、若い人・女性・行政と共に取り組んだF1会議を通して「住みたい街ランキング1位」へと躍進させた話、そして人生100年を生き抜くための4つのワーク(家庭・有給・学習・社会活動)が必要の話等々、講演を聴きワイズ活動にも参考になると感じた。第2部：部大会は、歓迎の挨拶、来賓挨拶、部長報告、部各事業主査報告、アピールが行われ工藤次期部長の閉会の言葉で終了。閉会后、30余名の希望参加者が3グループに分かれ、約1時間ほどのリモート懇親会が行われ、ZOOMで行われた第25回関東東部大会は閉会した。

(ひがし出席者：沖、金丸、須田、高野、竹内、千代)



★千代さん談

10月2日開催の関東東部大会に初めてZOOM参加することが出来、ホッとしています。記念講演や部長報告等、在宅のままでのコミュニケーションの恩恵を実感しました。

9月例会報告(ZOOM)

9月9日(木)、19時高野会長の挨拶で開会。本日の卓話者東京YMCA 会員部主任主事の中里敦氏を紹介。続いて中里さんよりコロナ禍での活動、これからの事業への対策、チャリラン&ソシアスのアピールほか、ワイズとのつながりに感謝する気持ちが話された。

各種報告の前に、全員よりオリンピック&パラリンピックの感動したことを聞き、最後にチャリランウォークにひがしから鮎澤・高野・竹内が参加する発表ほか各種報告で9月例会は閉会した。



★今月の誕生日

飯田歳樹メン(16日)

★今月の結婚記念日

今井一夫・爽子夫妻(15日)

須田哲史・由美子夫妻(8日)



▼夏のキャンプは

今夏予定をしていた宿泊を伴うキャンプは緊急事態宣言の発令を受けて中止としたが、代わりに高尾の森わくわくビレッジや山手センターなど都内の施設を利用した5つのデイキャンプを企画し、無事に実施することができました。夏期水泳教室や語学クラスも感染防止対策をしながら予定通り行い、合計1,328人の子どもたちが夏プログラムに参加しました。

また昨年好評であった家族を対象とした「秋の山中湖キャンプ」を、今年も10月9日～10日に山中湖センターで開催する予定です。

▼フレンドシップファンド

経済的な理由でYMCAのプログラムに参加できない子どもたちの参加費を補助する「フレンドシップファンド」から、今夏は計272,855円を支出し、9人の夏プログラム参加費を補助しました。コロナ禍により一層ニーズが高まっていることから、今後も広く寄付を募り、ファンドを積極的に活用していく予定です。ご協力よろしくお願いいたします。

▼国際協力事業報告

東京YMCAが長年支援を続けているバングラデシュYMCAが運営するNFPE(働く子どもたちの学校)は、コロナ禍の影響により2020年3月から休校が続いています。東京YMCAはバングラデシュYMCAからの要請を受け、子どもたちの学習とその家族の生活支援のために、国際協力募金から支援をすることとし、募金活動を開始しました。現地では教師が各家庭を訪問し家庭学習をサポートするとともに、生活が困難な家庭には食料品やマスクなどの物資を届ける予定です。また、一昨年から交流が始まったミャンマーのネピドーYMCAでは「YMCA農村診療所」の活動の延長として、コロナ患者を病院に搬送する救急車プログラムの他、失業者に食料品を配給する活動をはじめたことから、国際協力募金からの支援を検討しています。

▼私たちの輝く未来のために～SDGsてなあに？～

東陽町コミュニティーセンターで実施した子どもたち向けのSDGs理解とアクションの為にパネル展が終了しました。今後は子どもたちから実際に行ったアクションを聞き取り、再度ロビーで展示発表する予定です。

皆さんにお返ししたSDGsビンゴへの取り組みになりますので、是非皆様の結果も一緒に発表させてください。締め切りは10月15日です。よろしくお願いいたします。



▼2021年度クリスマスオープンハウス

今年度のクリスマスオープンハウスは規模、内容、時間を縮小して12月12日(日)実施の予定で準備を進めることが、コミュニティー委員会で決定しました。

コロナの感染状況によって内容の変更を行う場合もございますが、日程のご予定を宜しくよろしくお願いいたします。